

社会福祉 しずおか



特集

地域住民の暮らしを支える社会福祉法人の活動 ～社会福祉法人による地域における公益的な取組～

福祉のまちづくり絵画コンクール優秀作品を紹介します(平成30年度)

テーマ やさしさでつながる福祉(しあわせ)のまち



「笑顔で見守りありがとう」
いつも同じ「おかえり」の声をかけてくださる見守隊の方々の
おかげで安心して子どもたちが帰ってこられます。



★静岡県経営者協会会長賞

磐田市立竜洋北小学校(4年) 根津桜さん

「楽しむ行事」地いきみんなで
地域のおじいちゃん、お母さん、お友達など、一緒になってお
祭りに参加しました。みんなで仲よくなり、安心して暮らせ
る地域です。



★静岡県中小企業団体中央会長賞

浜松市立浜名小学校(3年) 原田哲充さん

※学校名、学年は平成30年度のものです。

編集発行



社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670 静岡市葵区駿府町1番70号 電話.054-254-5248 FAX.054-251-7508 <http://www.shizuoka-wel.jp>
E-mail spcsw@shizuoka-wel.jp

※本機関紙は皆さまの会費を充当し発行しております。

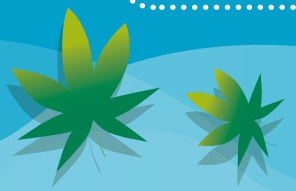
地域住民の暮らしを支える 社会福祉法人の活動

～社会福祉法人による地域における公益的な取組～

平成28年4月に施行された改正社会福祉法では、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化とともに、「地域における公益的な取組」が責務化され、これまで以上に地域で暮らす人々が抱える福祉ニーズや生活課題に積極的に取り組むことが求められるようになりました。

法の施行から3年が経過し、県内では社会福祉法人による地域における公益的な取組が広がりをを見せています。

本号では、社会福祉法人駿河会 特別養護老人ホーム晃の園と社会福祉法人わらしな福祉会 特別養護老人ホームりんどうが地域と連携を取りながら実施する買い物ツアーの取組を紹介します。



社会福祉法人と地域が連携した
買い物ツアー「福口はやぶさ隊」
↳ 駿河会・わらしな福祉会・
中藁科地区社会福祉推進
協議会の3者連携による取組

活動のきっかけとなった 住民アンケート、地区懇談会

静岡市北部の中山間地域に位置する水見色、大原、小布杉地区では、若者の流出や路線バスの本数減少などにより、かねてから地域住民の買い物や通院などの「移動」が困りごととしてあがっていました。そこで、住民の生活状況を把握するため、中藁科地区社会福祉推進協議会（会長 新堂光秋 氏）（以下、中藁科地区社協）で、水見色地区（約110世帯）と小布杉地区（約40世帯）の2地区を対象に住民アンケートを実施することになりました。アンケート項目では、よく利用する移動手段や移動の目的、頻度などについて聞き取りを行いました。

回答結果では、「バスは停留所まで遠い上に坂道で非常に不便」、「通院にバスを利用しているが、帰

りに丁度よい便がなく待ち時間が長い」など、現在の公共交通への不満が見られたほか、羽鳥地区への買い物バスや通院バスなど新しい移動支援の取組を希望する意見もありました。

アンケート実施後、自治会長、民生委員、シニアクラブなどに中藁科地区社協が声掛けを行い、地区懇談会を開催し、アンケート結果をもとに話し合いを行いました。参加者からは、「困っている人がいるなら、新しい仕組みをつくらう」と前向きな意見があり活動への機運が高まりました。

この地区懇談会には、駿河会、わらしな福祉会も参加しており、地域課題に対して社会福祉法人として何ができるのか、考えるきっかけにもなりました。

社会福祉法人の車両を活用 した買い物ツアーの開催

地区懇談会の開催後、中藁科地区社協、静岡市社協、駿河会、わらしな福祉会、藁科地域包括支援センターが集まり、移動支援検討会を開催しました。

そして、今年4月から中藁科地

中瀬科 買い物ツアー

買い物に困った自由に乗車できる車があると良い！と声を受けて買い物ツアーを始めました。

行き先：スーパーマム、ホームセンターカーイズ、クリエイト

運行日時：月1回（第4水曜日）9:30～10:00頃自宅付近へ送迎します。

日 程：	5月29日	8月22日	11月28日	1月23日
	6月27日	9月26日	12月 0日	2月27日
	7月25日	10月24日		3月26日

申し込みは！運行前までに左記に連絡して下さい。
 *雨天、大雨など警報が出た時は中止となります。
 *ご利用頂く場合には会員登録をして頂きます。

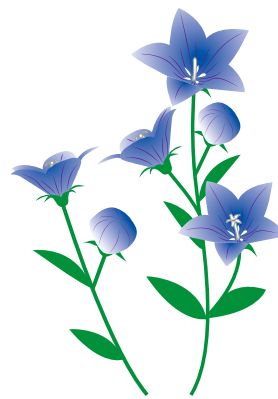
申し込み・問い合わせ先
中瀬科地区社協事務局
 ☎ 270-1050

主催：中瀬科地区社会福祉推進協議会 協力：社会福祉法人駿河会、社会福祉法人わらしな福祉会

区社協、駿河会、わらしな福祉会が一体となり住民の生活を支援する、買い物ツアー「福ロウはやぶさ隊」がスタートしました。

買い物ツアーは、地域ごとに水見色、大原、小布杉の3コースがあり、羽鳥地区にあるスーパーマーケット、ホームセンター、ドラッグストアが目的地となります。

買い物ツアーで使用する車両は、駿河会が運営する特別養護老人ホーム晃の園と、わらしな福祉会が運営する特別養護老人ホーム



りんどうで所有しているものを貸し出し、運転手は地域の運転ボランティアが担います。開催頻度は、月に1回で、小布杉コースが第2木曜日、水見色、大原コースが第4木曜日に実施しており、約20人の地域住民が利用しています。

買い物ツアー利用者の「声」

買い物ツアーの利用者には1人暮らしの方も少なくありません。水見色地区で1人暮らしをしている方（80代後半・女性）は、以前は、水見色小学校で学校給食の調理員をしていました。普段は農協の宅配サービスを利用してますが、買い物ツアーでは、自分で商品を見て買うものを選ぶことができました。とても楽しいと語っていました。

また、ホームセンターで買物をしていた方は、様々な種類が入った花火セットを買い物カゴに入れていました。尋ねてみたところ「夏休みを利用して東京から孫が遊びにくるのよ」と嬉しそうに話されました。

「福ロウはやぶさ隊」には、『福』（しあわせ）を『はやぶさ』のようにすばやく地域住民に届けたいという意味が込められています。地域住民に『福』を届ける活動はこれからも続きます。



中藁科地区での買い物ツアーを実践している2法人と地区社協に、組織としての思いや考えについて、執筆をいただきました。

「ありがとう、おかげさま」



社会福祉法人わらしな福祉会
特別養護老人ホームりんどう
施設長 秋山 喜代治 氏

中藁科地区社協様のお声掛けで、この度、移動サービスへ車両提供をさせて頂くことになりました。

水見色は、バス路線が有りませんが、自宅からバス停までの道のりは決して近くは無く、また坂道ばかりで、利用するにも一苦労です。

水見色の地で福祉事業に勤しむ中、何かしら地域のお役に立てないかと模索する中、水見色老人クラブ（笑和会）様の中藁科地区で行われるイベント大会に参加した折、当法人から職員が運転するマイクロバスにて送迎をお手伝いさせて頂いておりました。

この度は、中藁科地区社協様

特別養護老人ホームりんどう

住所 静岡市葵区水見色360
入所定員 180人

「より家庭的な雰囲気の中で自由に生活する」をモットーに、利用者一人ひとりの思いを尊重し、あたりまえの生活をあたりまえに過ごせるよう、寄り添うケアを目指しています。

が主体となられ、地域のボランティアや、駿河会と本会の2つの社会福祉法人により「買い物ツアー」が始められたことは、それぞれの参画者の思いが叶ったことと思います。

この事業が継続して行えるよう、当法人として無理なく、かつ惜しまず協働させて頂く所存でございます。

「ありがとう、お陰様でと過ごす日々」が当法人の理念です。中藁科地区にお住いの皆様と共に、いつまでも笑顔で暮らすことができよう、お力に成りたいと考えております。

「中藁科移動支援への参加の思い」



社会福祉法人駿河会
地域支援本部長
川崎 誠之 氏

近年、全国的に地域の自治活動が活発になってきており、様々な活動が広がっています。中藁科地区でも移動支援の必要性が注目され、活動が始まりました。静岡市社会福祉協議会の方から、中藁科地区のニーズ調査結果により、移動支援を推進したいとお話をいただきました。普段、お世話になっている地域の為に、社会福祉法人駿河会として役に立てる機会だったので、仕組みを立ち上げる時から参加をさせて頂いたことを決めました。

社会福祉法人の立ち位置として大事にしていることは、私たちが全面に出るのではなく、住民の方の自主性をサポートするようになっています。それは、持続可能な地域になるために大切なことだと考えています。先を考えずに社会福祉法人が

全面に出てしまった場合、職員数や資金が不足した時に、移動支援の継続が難しくなります。そうなる前、住民の方々まで困ってしまうことになりません。そうならないためにも、持続可能な仕組みを考えることが大切です。

さらに加速する少子高齢化に連れて、地域の課題が増えることは、どの地域でも言えることだと思います。地域を支える活動をするからこそ、社会福祉法人の価値が生まれます。地域に再投資する余力金がなくとも、お金を掛けず地域の役に立てることも多々あります。今後さらに、持続可能な地域づくりに参加する社会福祉法人が増えることを期待しています。

特別養護老人ホーム 晃の園

住所 静岡市葵区富沢1542-39
入所定員 150人

入居された方が、安心して生活できる質の高い介護を目指し、「その方の暮らしをつむぐ」ことを目的としています。

中藁科地区社会福祉推進協議会

会長 新堂 光秋氏



中藁科地区社協は、平成6年12月に発足し25年目を迎えました。この地域は藁科川沿いに、農業と林業を中心に6地区が終結した中山間地です。

近年は、少子高齢化、過疎化が進み当地区でも大きな問題の一つであります。地区社協の主な活動として、自治会や住民の協力を得て8年前からS型デイサービス「中藁まめつたい会」を実施、さらに、2年前から「富厚里さわやか会」を立ち上げ、高齢者の憩いの場として月1回、健康体操や脳トレ、会食など、笑い声の溢れる時間をボランティア一同と過ごしています。

また、今年4月には買い物物ツアー「福口ウはやぶさ隊」を立ち上げ、社会福祉法人の協力を得て始めました。

今後も地域住民が生き生きと毎日を暮らすことができ、育み、支え合える地域を目指して活動していきます。

地域における公益的な取組の理解促進に向けて～県社協の取組～

県社協では、社会福祉法人による地域における公益的な取組を推進するため、社会福祉法人職員を対象に取組に関する理解促進を図るための映像を作成しました。主な内容は次の通りです。

1. 制度等の理解

社会福祉法人制度改革及び公益的な取組の責務化の背景についての解説動画を作成



2. 先駆的な取組紹介

県内法人の6つの実践事例について、取組の概要や実施に至るまでの経緯などについての映像を作成(表1を参照)

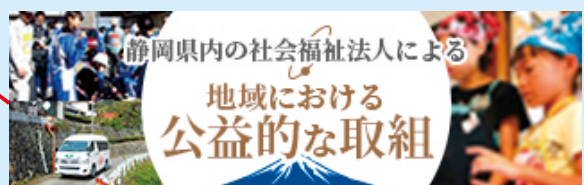
- | | | |
|--|---|------|
| ① 高齢者向け配食サービス「おまち堂」コンソーシアム
(実施法人:寿康会・小山町社会福祉協議会 他)【小山町】 | ④ プレゼント・バンク(社会資源活用)
(実施法人:静清会)【静岡市清水区】 | (表1) |
| ② 福祉バス「助さん号」(移動支援・地域活動支援)
(実施法人:天心会)【静岡市葵区】 | ⑤ こども食堂～もぐもぐキッズカフェ～
(実施法人:八生会)【磐田市・法人本部は浜松市】 | |
| ③ はとりきっずぴあ(子どもの居場所・学習支援)
(実施法人:駿河会)【静岡市葵区】 | ⑥ みんなの居場所「楽多クラブ」(多世代の居場所)
(実施法人:ふたば会)【磐田市】 | |

作成した映像は県社協ホームページ及びYouTube上において掲載をしています。ぜひ、様々な場面での活用をよろしくお願いいたします。

3. 社会福祉法人における取組の見える化、情報発信

県社協では、県内社会福祉法人が実践する取組を積極的に情報発信していくための支援として、取組を紹介するリンク用バナーを作成し、県社協ホームページ上に公開をしました。このバナーについて、県内社会福祉法人の皆さまの積極的な活用をお願いします。

今後も県内社会福祉法人の取組を順次掲載し情報発信を行い、取組を支援していきます。



～やりたいこと、やってみよう!～

社会福祉事業振興のための助成金、申請募集中!

民間社会福祉施設の円滑な運営と振興を図るために、県内の社会福祉施設に助成を行っています。本年度から、静岡県社会福祉協議会会員への助成率が変わりましたので、積極的にご活用ください。

【対 象】第1種・第2種社会福祉事業を実施する県内の民間社会福祉施設及び市町社会福祉協議会

【申請期限】第2期:9月末 第3期:11月末

	助成内容(目的)	会員上限額(助成率)	非会員上限額(助成率)
一般助成	地域コミュニティラボ助成(地域貢献)	20万円(7/10)	10万円(5/10)
	職場内OJT助成(職員の定着、人材育成)		
	法人間連携推進事業(職員の人材育成、地域貢献)		
	会計監査人設置準備助成(経営の適正化)		
	防災減災対策・福祉避難所設置助成(地域貢献)	30万円(7/10)	
移動支援助成(地域貢献)			

※この他に、一般助成(第三者評価事業受審助成)・特別助成もあります。詳細は、本会ホームページをご覧ください。

この助成金を活用した県社協会員施設と内容をご紹介します。

○ 社会福祉法人春風会 沼津市立高尾園(救護施設)

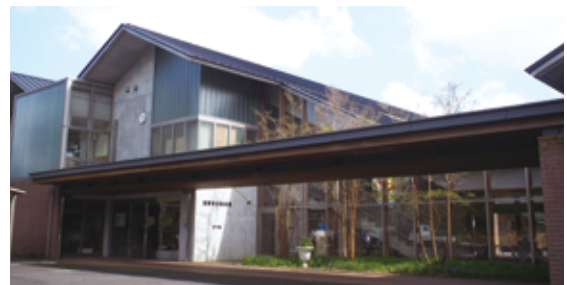
所在地:沼津市足高156-1

今回の事業等について、深沢施設長にお話を伺いました。

【沼津市立高尾園(救護施設)の概要】

「救護施設」というとなかなか聞き慣れないかもしれませんが。救護施設は、生活保護法に基づく施設で、身体や精神の障害や、何らかの課題(生きづらさ)を抱え、日常生活を営むことが困難な要保護者の自立を支援する福祉施設です。

身体障害、知的障害、精神障害といった対象者の限定はなく、それらの障害を重複して持つ人、アルコール依存症の人、ホームレス状態の人など、多様かつ複合的な課題を持つ人々が生活しています。そのような課題も含めて幅広く受け入れる沼津市立高尾園は、「地域におけるセーフティネット」として地域の理解と協力を得ながら日々活動しています。



【県社協の社会福祉事業振興のための助成金の活用】

市内の社会福祉施設で構成する沼津市福祉施設連絡協議会では、平成27年度から「沼津市福祉施設防災・災害状況マップ」を作成しています。昨年度は、県社協の社会福祉事業振興のための助成金を活用しました。協議会では私が会長を務めていることもあり、代表して沼津市高尾園が助成金の申請をしました。

マップは、協議会の会員である43の福祉施設ごとに被害想定、被害発生時の避難者の受け入れ可能人数、備蓄品(車両含む)などの情報を掲載しています。災害時における利用者の安全確保と地域の要配慮者支援を充実させたいという願いを込めて作成しています。地域でできる防災・減災は、日頃から自治会、民生・児童委員、行政等との情報共有が必要です。福祉施設も地域の社会資源の一つとして、「災害時に施設でできること」を積極的にPRしていければと考えています。



●マップはこちらからご覧になれます。 http://numazu-shakyo.jp/chiikifukushi_renraku.html



静岡県社会福祉人材センター研修課主催の研修会のお知らせ

2019年11月開催分をお知らせします。

★ラクラク申込み「WEBサービス」(会員対象)を御利用ください!→WEBサービスサイト <http://www.shizuoka-wel.jp/learn/information/>

研修NO.	研修名	開催日	会場	対象者	内容・講師	受講料 会員(非会員)
1	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程 初任者コース(西部)	11/1 11/27、28 (3日間)	浜松市 福祉交流 センター	初任者 (概ね入職後1~2年 程度の職員)	・サービス提供者、チームの一員としての基本を習得する ・福祉職員が自らのキャリアデザインを描く 講師:福祉職員生涯研修課程指導者	1,300円 ※テキスト代
10	職場研修のつくり方講座	11/6	シズウエル	社会福祉施設・介護 保険事業所等に勤 務する方	キャリアパスを用いた福祉職員の育成・指導の方法を、実例を 基に考える 講師:日本女子大学 人間学社会学部 社会福祉学科 教授 久田 則夫 氏	4,000円 (6,000円)
69	高齢者の転倒予防講座 ～片麻痺と 高次脳機能障害の理解～	11/11	シズウエル	老人福祉施設・介護 保険事業所等に勤 務する方	高齢者の転倒予防について、必要な知識・技能の習得をする 講師:静岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法科 主任 田中 幸平 氏	4,000円 (6,000円)
14	会議を良くする ファシリテーション講座	11/19	シズウエル	社会福祉事業又は 介護保険事業に従 事する、主に中堅ク ラス以上の方	会議でチームが本来持っている力を引き出し、大きく育てる 「ファシリテーション」を学ぶ 講師:(特非)日本ファシリテーション協会 フェロー 鈴木 まり子 氏	4,000円 (6,000円)
104	共感を得る「ことば」講座	11/29	シズウエル	社会福祉施設・介護 保険事業所等に勤 務する方	DJボリスも学んだスピーチロックとは!? 「相手を制限する言葉」から「相手を受け入れる言葉」を旨とし、 「言葉選び」の重要性を考える 講師:(株)はあもに 代表取締役 大野 晴己 氏	4,000円 (6,000円)

☆詳しくはホームページをご覧ください 問い合わせ先: 研修課 電話 054-271-2174

◎最新の「研修開催の情報」を、電子メールで事業所様にお知らせします! kenshu@shizuoka-wel.jp に①事業所名 ②担当者名 ③電話番号 ④電子メールアドレスを
入力の上、件名「研修開催の情報 メール送信希望」として送信してください。なお、2か月経過しても配信がない場合は、下記研修課まで御連絡ください。

◎県社協が行う自主研修には、皆様の会費を充当しております。

令和元年度「老人の日・老人週間」キャンペーン

標語:みんなで築こう 安心と活力ある健康長寿社会

キャンペーンが目指す6つの目標

- (1) すべての高齢者が安心して自立した生活ができる、
保健・福祉のまちづくりを進め、ふれあいの輪を広げよう。
- (2) 高齢者の知識、経験や能力をいかした、就労・社会
参加・ボランティア活動を進めよう。
- (3) 高齢者の生きがい・健康づくり、介護予防等への取
り組みを進めよう。
- (4) 高齢者の人権を尊重し、認知症高齢者への支援の
あり方や介護問題等をみんなで考え、高齢者や介
護者を支える取り組みを積極的に進めよう。
- (5) 高齢社会における家族や地域社会等の役割を理解
し、多世代がお互いに協力して安心と活力ある健
康長寿社会をつくろう。
- (6) 減災や防災への取り組みに関心を持ち、日頃から
地域でのつながりを築こう。



9月15日は「老人の日」、9月15日から21日までの1週間は「老人週間」です。

- 主唱 内閣府／消防庁／厚生労働省／全国社会福祉協議会／全国老人クラブ連合会／長寿社会開発センター／日本医師会／
日本歯科医師会／日本薬剤師会／日本看護協会／日本社会福祉士会／日本介護福祉士会
- 協賛 NHK／日本新聞協会／日本民間放送連盟



ヤマハ株式会社

<https://www.yamaha.com/ja/>



ありがとうございました

県社協への寄附金

しずおか信用金庫 様から ふれあい基金へ528,873円のご寄附をいただきました。(7月5日)



左)しずおか信用金庫 理事 業務統括部長 木村 寿倫 様
右)本会 常務理事 松浦 康夫

施設のメンテナンスを効率良い専門車輛で応援します。

カーテン出張クリーニング



特許ランドリー車

カーペット・タイル出張丸洗い



洗浄前

洗浄後

ブラインド・ロールスクリーン出張クリーニング



株式会社三ナフ

静岡県静岡市葵区産女 1060-1

フリーダイヤル 0120-370286

fax054-295-9003

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成31年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任の補償	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)		
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料 (1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
	天災タイプ(*) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(*)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行食用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。